
~ESCAPE!~

ひにまる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ESCAPE！」

【著者名】

「N」「ード」

「N」「一八四」

【作者名】 ひにまる

【あらすじ】 駄目人間の話

エブリスタでも重複投稿してます

振り返れば俺の人生、いつもこんなのがかりだつたな。
重力に従い落下する身体は奇妙な浮遊感に包まれ、思考は拡散してゆく。

「てめえ調子に乗つてんじゃねえよ！」

頬の衝撃と鉄臭い血の味。

殴られたのか、と理解する間も無く鳩尾に次の衝撃。

まさか、自分が標的になるとは思わなかつた。

俺はただ、誰よりも優しい友人を助けたかつただけなのに。

「なんか言ってみろよ！このクズがっ！」

「そうそう、英雄気取りで俺らの楽しみを邪魔するから悪いんだよ。なあ？」

そう言って同意を求められたのは、俺が助けた筈の友。
いつの間にか侮蔑のまなざしで俺を見下す側にいる。
なぜ？どうして？

急速に稀薄になつてゆく現実感。

ああ、もうどうでもいいや。

「あ、負け犬が逃げ出しだぞ。」

背後から聞こえる“帰れ”の大合唱。

これが、初めての逃走の記憶。

『お話ししたいことがあります。

放課後、第三講義室まで来ていただけないでしょうか。
お待ちしております。』

地元の連中から逃げるよつにして入学した高校で、時折下駄箱に入

れられていた手紙。

そこそこ端正な顔立ちと、誰とも深く関わることのないスタイルのせいで俺は、女子共から人気があるらしい。

正直な所、鬱陶しい。

一匹狼のような所が良いと言いながら、何故、自分と特別な関係を築けると思ったのだろうか。

だから、俺は逃げ出す。

しかし、女子というものは大変面倒な生き物で、すぐに群れてやつてくる。

自分達が正しい行いをしていると盲信し、世界が自分達を中心に回っていると錯覚して。

「なんで、昨日、行つてあげなかつたの？」

「郁は、ずっと君のこと待つてたんだよ。」

「勇気を出したのに、返事もしてあげないなんて可哀想だと思わない？」

うるさい、そういうことだつて理解しろよ。

「紫瑞君つて、酷いね。」

「マジ幻滅したわ。」

お前らはいつもそうだ。

勝手に自分の理想を押し付けて、少しでも期待にそぐわなければ裏切られたと言う。

どうせなら、始めから期待なんかしないで欲しい。
噛みつかれても面倒なので、俺は、また逃げ出す。
より、稀薄な人間関係を求めて。

そんなこんなで生きてきた俺にも、ようやく大切な人ができ、子供も生まれ、人並みに幸せを手にいた。

妻に樂をさせたいと必死で働き、生活費を稼ぐ毎日。
だが、不況の煽りを受けて、会社はあえなく倒産し、収入を失った。

絶望の淵に立つ俺に、一人の男が声をかける。

「裏の仕事に興味はないか。」と

再就職の当てもない俺は、高収入に惹かれ男の誘いに乗った。

それが間違いだったのだ。

使い捨てにされた俺は、妻と子を人質にとられ、断崖絶壁に追い詰められた。

どちらか片方の命だけは保証してくれるらしい。

「私はいいから、夏樹を助けてあげて。私はあなたと会えて幸せだつたから。」

「ボク、死にたくないよ。でも、でも、お母さんが死んじやうのはもつといやだよ。」

考える。考える。どうすれば良い。考える。何をすれば二人共助けられる。考える。考える。何か手はないのか。考える。今まで俺はどうしてきた。考える。考える。考える。考える。考える。考える。考える。考える。考える。どうでもいい。

そうだ、俺は今まで逃げ続けて來たんだ。

なら、また、逃げれば良い。

そう、答えを出す必要などない。

俺は稀薄な人間。

ほら、身も心も軽い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9184z/>

~ESCAPE!~

2011年12月28日20時58分発行